

私が中学3年の時の冬から春、夏にかけての思い出をもとに随筆にしてみました。3歳上の兄は高校3年で受験地獄のさなかでした。私は人生で一番幸せで穏やかな日々を過ごしていました。今はもう兄も母も祖母もいませんが今でもその時に書いた日記を読むとあの頃の元気で明るい祖母や母や兄の姿が思い浮かびます。

萩原良昭

